

羽賀場山～お天気山山行報告

【山行日】2016年 3月 6日(日) 晴れ時々曇り

【集 合】 栃本市運動公園P AM 7:00

【費 用】 マイカー2台 : 700円

【メンバー】 CL: 鈴木ユ、大西、香川、
梶内、島田、関、福田タ、藤原、渡辺

【コースタイム】 栃本市運動公園 P7:00＝

長安寺 P7:40/8:00～第一鉄塔 8:35～第二鉄塔

9:10～羽賀場山 9:55/10:05～777m P11:20～

羽賀場山 11:40/12:20～二ノ宮 12:35～

上大久保 13:30＝町の駅「かぬま」13:50/14:10

＝栃本市運動公園 P14:40



以前から気になっていた、一等三角点のある山「羽賀場山」を計画した。



た。長安寺に駐車をお願いすると「法事と会議があるので下の駐車場に止めてください」と言われ、住居下にある広い駐車場に車を止めた。お寺の庭の間を通り、羽賀場山の小さな標識に従って伐採用の道路を登って行くと、先行した皆さんが見えた。

伐採地の中にかすかな踏み跡があり、踏み跡



今回は羽賀場山から、地形図に山名も標高表示も無い「お天気山」まで尾根伝いに歩くことにした。栃本市運動公園から栗野街道を通り、裏道を走って鹿沼運動公園のトイレに寄り長安寺に着いた。皆さんが準備をしている間に、K川さんと下山口の上大久保に車を1台デポしに行く。長安寺に戻ると皆さんが丁度出発するところだっ



をたどって急な斜面を登って行く。

途中で先行グループが休憩をとり、我々もやっと追いつくことが出来た。そこから少し登るとはっきりした登山道に出て、尾根上を歩くようになる。心配した天気も、薄日が差すようになり、伐採のお蔭で眺望も良く、大芦川や古関の集落がはっきりと見える。第一送電鉄塔を過ぎ、雑木林の登山道を辿り、519mのピークを巻



いてから鞍部まで下り、登り返してしばらく進むと第二送電鉄塔に出る。鉄塔の西側が開けて見晴が良く、鉄塔の基礎が平らになっており休憩をとって水分補給をする。

ここからは急なアップダウンが連続し、皆に疲れが見えたころようやく羽賀場山山頂に着いた。

一等三角点が置かれているが、眺望は無く地味な山頂である。休憩をとり K 内氏お手製の草餅や果物を食べてエネルギーを補給する。

ここからお天気山までは、アップダウンの激しい稜線歩きが連続し、途中迷いやすい箇所や岩場の急下降があるので慎重に確認しながら歩く。分岐では古い標識や、テープやリボンのマークを確認しながら進む。岩場の下降もロープを頼りに、慎重に下る。

手前の777mピークに登り、皆さん疲労困憊の様子。S 田さんが塩分補給に沢庵を出すと、皆さん大喜びで「美味しい、美味しい」と食べていた。「あと15分頑張れば着きますよ」との声に、元気を出して出発する。一旦鞍部まで下り、最後の急斜面を登ると尾根に登り上げ、そこから少し歩くとお天気山山頂に着いた。山頂手前から晴れて来て、山頂からは日光連山を望むことが出来皆さん大喜び。山頂で記念写真を撮った後、ランチタイムとする。定番の「きのこうどん」に卵焼きやおひたしに、好評の沢庵をいただき大満足の昼ごはん。お天気山からは、雑木林の急な尾根を南西側に降りて行く。ロープを伝いながら慎重に降りて行くと、大きな岩場がありその上に「二の宮」の



祠がある。少し降りた鞍部が分岐になっており真っすぐ進むと「一の宮」、左に進むと下山コースと案内板がある。

左の下山コースを進み、ここからK川さんと二人で先行し下山口にデポした車で長安寺へ向かう。

長安寺で駐車のお礼を言って車を回収し、上大久保の下山口に向かった。上大久保に着くと、丁度皆さんが下りてきた。時間が早いので「何処か道の駅の寄りたい」との要望があり、一番近い「町の駅 新・鹿沼宿」に行くことにした。

鹿沼市が街の中心部に最近開設した、とても人気がある町の駅らしい。

野菜をゲットし、人気の牛肉メンチやソフトクリーム等、好きなものを食べて帰路につく。

近場で、夏山に向けた良いトレーニング山行とお買い物のが楽しめ、皆さん大満足の羽賀場山山行となった。